

【58用語】

曇天（どんてん）…くもり空、くもった天気

酉之市（とりのいち）…十一月の酉の日に神社で行われる祭り、初酉の日を

一の酉、順次に二の酉、三の酉と呼ぶ

工女（こうじょ）…工場で働く女性、女工

従前（じゅうぜん）…今より前、今まで

【58解説】

本文書を所蔵する田村家は、明治二十六年（一八九三）六月、田村新三郎の代に旧諏訪町（現、前橋市城東町）で製糸所を開業したとされる。その規模は、同三十二年に十一釜、女工十三人であったという。その後、作太郎も父の家業を継いで製糸業を経営し、明治四十二年の産業組合法で改組された前橋の代表的な器械製糸会社の交水社にも加盟し、その役員（監事）として名を連ねていた。

本文書は、田村器械製糸所の明治四十二年一月から十二月までの工場日誌であり、一年間の経営状況や経営者の活動、さらに女工らの就業状況など、工場の日常の様子をうかがうことができる。なお同四十二年の工場規模は、男工四人、女工五十二人、人夫男一人、蒸気五、五馬力であった。